

令和7年度 二次募集（工芸技術者養成研修概要）

内 容	応募方法、選考方法等	研修名	応 募 要 件	研 修 内 容	研 修 費 用
〈研修の種類〉 1) 織物, 2) 紅型, 3) 漆芸, 4) 木工芸 〈定員〉 各研修4名程度 〈研修期間〉 令和7年4月15日(火) ～ 令和8年3月13日(金) 〈研修日・時間〉 火～土(週5日) 9:15～17:15 ※祝祭日、慰霊の日、12/29～1/3 を除く 〈研修場所〉 おきなわ工芸の杜内の 貸し工房D及び共同工房等 〒901-0241 豊見城市字豊見城1114番1 〈受講料〉 無 料 ※材料費、道具代は自己負担 〈実施方法〉 ・各研修の常勤講師による指導 ・上記のほか、外部講師指導、 共通座学、学外研修等を実施 ※研修の趣旨に沿わない製品試作 はできません。 〈展示会〉 ・中間報告会及び成果報告展を 開催予定	〈受付期間〉 令和7年2月12日(水)～令和7年2月28日(金) ※郵送：2月28日(金) 17時必着 〈提出書類〉 (1) 研修願書(写真貼付) ※当センター窓口又は ホームページより入手可能 (2) 住民票抄本(マイナンバー記載なしのもの) (3) 織物、紅型のみ 技術経験が確認できるもの(任意) (例) 賞歴、写真 ※紙媒体に限る ※入所決定後に健康診断書、誓約書 (本人及び保証人)を提出 〈選考方法〉 (1) 書類選考 ・提出書類により資格要件等の確認 ・書類選考の通過者に、面接時間を E-mailにて通知 (2) 面 接 ・書類選考の通過者を対象に実施 令和7年3月10日(月)を予定 ・会場 おきなわ工芸の杜3階 沖縄県工芸振興センターにて ・結果通知 令和7年3月12日(水)以降 郵送にて通知予定 〈問合せ先〉 沖縄県工芸振興センター おきなわ工芸の杜 3階 〒901-0241 豊見城市字豊見城1114番1 電話：098-987-0380	織物	(共通事項) 1 研修場所へ通所可能な地域に居住 または居住見込みである者 2 研修終了後に県内工芸産業に従事 しようとする者 3 研修の受講に支障のない健康状態 である者 (織物・紅型のみ) 4 織物・紅型については、上記の 1～3に加え、次の(1)～(4)のうち いずれかの技術的要件を満たす者 (1) 県内工芸産地にて後継者育成事業を 修了した者 (2) 県内工芸事業所の事業主または従業員 であり、当該研修に関する技術的 業務について1年以上の経験がある者 (3) 染織に関する学校等で専門的に技術 を学んだ者 【例】・沖縄県立芸術大学美術工芸学部 デザイン工芸学科(染織専攻) ・首里高等学校染織デザイン科 (4) その他工芸振興センター所長が適当と 認めた者	・工芸知識全般 ・繊維知識の習得 ・製織技術 (緋、絞織り等) ・染色技術 ・図案作成技術 ・製品企画 ・課題製作 (帯、着尺等)	受講料：無料 材料費・道具代：15万円程度 ※使用する材料によって異なる ※既にお持ちの方は不要 傷害保険料：1万円程度
			(共通事項) 1 研修場所へ通所可能な地域に居住 または居住見込みである者 2 研修終了後に県内工芸産業に従事 しようとする者 3 研修の受講に支障のない健康状態 である者	・工芸知識全般 ・型彫技術 ・糊加工技術 ・染色技術 ・図案作成技術 ・製品企画 ・課題製作 (帯、着尺等)	受講料：無料 材料費・道具代：15万円程度 ※使用する材料によって異なる ※既にお持ちの方は不要 傷害保険料：1万円程度
		漆芸	(共通事項) 1 研修場所へ通所可能な地域に居住 または居住見込みである者 2 研修終了後に県内工芸産業に従事 しようとする者 3 研修の受講に支障のない健康状態 である者	・工芸知識全般 ・素地技術 ・漆(髹漆)技術 ・加飾技術 (螺鈿、堆錦等) ・デザイン技術その他の 加工技術 ・製品企画 ・課題製作	受講料：無料 材料費・道具代：20万円程度 ※使用する材料によって異なる ※既にお持ちの方は不要 傷害保険料：1万円程度
			(共通事項) 1 研修場所へ通所可能な地域に居住 または居住見込みである者 2 研修終了後に県内工芸産業に従事 しようとする者 3 研修の受講に支障のない健康状態 である者	・工芸知識全般 ・挽物技術 ・指物技術 ・塗装技術 ・デザイン技術その他の 加工技術 ・箱物製作技術 ・脚物製作技術 ・製品企画 ・課題製作	受講料：無料 材料費・道具代：20万円程度 ※使用する材料によって異なる ※既にお持ちの方は不要 傷害保険料：1万円程度